東京都交通局長　野澤美博殿

2011年9月

日本共産党東京都議会議員団

可動式ホーム柵（ホームドア）の整備促進に関する申し入れ

去る７月２６日、東急田園都市線つくし野駅（町田市）で、ほぼ全盲の男性がホームに入ってきた電車とホームのすき間にはさまれ、命を落とす痛ましい事故が発生しました。今年１月にも、ＪＲ山手線目白駅（豊島区）で全盲の男性がホームから転落して亡くなる事故があったばかりです。

国土交通省は、ホームからの転落事故・列車との接触事故が多発している問題の打開にむけて、貴局もふくむ鉄道事業者の代表による「ホームドアの整備促進等に関する検討会」を設置しており、８月１０日に同検討会の「中間とりまとめ」が発表されました。その中では、利用者１０万人以上の駅について可動式ホーム柵（ホームドア）の整備を優先する方針がしめされています。しかし、優先順位をつけることを否定はしませんが利用者１０万人以上の駅だけでは不十分です。東急田園都市線つくし野駅もＪＲ山手線目白駅も、利用者１０万人以上の駅ではありません。

可動式ホーム柵（ホームドア）を、都市における安全・安心な生活を保障するために必要不可欠なインフラとして位置づけて、整備を思い切って促進されるよう、以下の事項について申し入れるものです。

記

１、利用者１０万人以上の駅にとどまらず、都内のすべての駅への可動式ホーム柵（ホームドア）の整備をすすめること。

２、可動式ホーム柵（ホーム柵）整備の具体的な計画を明らかにすること。

３、内方線付き・ＪＩＳ規格対応の点状ブロックや、音声・音響・光等により列車の接近を知らせる装置等の整備、ホーム上の安全を確保する人の増配置など、ホームからの転落防止対策を強化すること。

以　上